

知内町顕彰条例に基づく功労・善行表彰式 町の発展に寄与いただきました

知内町の政治、経済、文化、社会そのほか各般にわたって、その振興に寄与し、または町民の模範と認められる行為があった方に贈られる「知内町顕彰条例に基づく功労・善行表彰」がこのほど発表され、4名が功労表彰を、2名が善行表彰を受賞しました。

● 功労表彰

○ 青色表彰

立木 澄子氏(選挙管理委員：きらく)
小辻 修平氏(消防団員：元町)
脇本 昌樹氏(農業委員：涌元谷地)
田中 政史氏(社会教育委員：上電)

立木氏は選挙管理委員として15年以上、各種選挙の適正な管理執行に尽力、小辻氏は消防団員として約31年、町の消防・防災に精励、脇本氏、田中氏は15年以上勤続し、各委員として長年の農業、社会教育の発展に寄与いただきました。受賞された方々は現在もさらなる向上のためにご尽力いただいています。

● 善行表彰

小林 三明氏(中ノ川)
松前 ひろ子氏(東京都)

小林氏は長年にわたり、町内会並びに神社境内、町道の路肩の除草、中ノ川墓地の清掃奉仕活動に尽力され、地域の環境保全に貢献されました。松前氏は知内町出身で、歌手生活50周年を迎えられたことを記念し、町の公益のため多額の寄附をいただきました(表彰は今後開催予定です)。

表彰式は12月9日に知内町役場で行われ、出席者へ西山町長から表彰状と感謝の言葉が送られました。



左から立木澄子氏、西山町長、田中政史氏

松前ひろ子氏より

ふるさとへ100万円寄附

歌手生活50周年を記念し、松前ひろ子(中村弘子)氏より知内町へ寄附を頂戴しました。

12月18日、実妹にあたる田高千恵子氏より西山町長に目録の100万円が贈呈され、松前ひろ子氏ご本人より「故郷を後にして60年、両親が最期まで過ぎた町、何年経っても忘れることはない沢山の想いが詰まった知内。今出来る事、高齢化している知内町の将来の人材育成にお役に立てたなら嬉しいです」とのメッセージもいただきました。温かいご芳志に改めて感謝申し上げます。

いただいた寄附金については、町の将来を担う人材育成や産業の活性化に活用させていただく予定です。



松前ひろ子氏



目録を手渡す田高千恵子氏(左)と西山町長(右)

知内高校野球部が「21世紀枠」候補校に推薦 文武両道の精神が評価されました

12月15日、第93回選抜高等学校野球大会の21世紀枠候補校が発表され、北海道ブロックから知内高校が選ばれました。知内高校を含む9つの候補校の中から3校が、1月29日の選考委員会で21世紀枠の甲子園出場校として選出されます。

「21世紀枠」とは、困難な練習環境を克服したり、地域貢献など野球以外の要素を選考条件に加え、甲子園出場のチャンスを広げる目的で2001年から導入されました。

知内高校の推薦理由は、先の秋季全道大会でのベスト4に加え、学業と部活動の両立、野球部員が先頭に立ち学校行事や地域振興に積極的に参加していることなど、他校の模範となるチームであることが高く評価されたためです。



野球部集合写真



楯を持ち記者会見に臨む川村亮太選手

函館法人会女性部会より マスクを寄贈していただきました



本間教育長(左)へマスクを寄贈する
堂守伸子第一委員長(右)と西野清美部会員(中央)

12月11日、公益社団法人函館法人会女性部会・堂守伸子第一委員長、西野清美部会員より本間教育長へ子ども用使い捨てマスク1000枚が寄贈されました。

堂守第一委員長は「町内の小学校において、当部会による税に関する絵はがきコンクールへの応募や租税教室の開催、日頃のご協力への感謝として寄贈させていただいた」と話していました。

寄贈されたマスクについて、本間教育長は「大変ありがたい。新型コロナウイルスの感染状況に応じて各学校に配布したい」と感謝の意を述べていました。

亀田病院と業務委託契約を締結 知内町診療所が民設民営へ



調印後の西山町長(左)と蒲池巨文理事長(右)

11月上旬より町立として再開した「知内町診療所」が、12月1日より医療法人亀田病院が設置、運営する「知内診療所」になりました。

知内診療所の開院時間は、平日午前10時～午後4時。診療科目も木曜日のみ整形外科、それ以外の平日は内科となっており、来院予定日を受診の前日までに電話予約することで、無料送迎バスの利用が可能です。

この度の契約締結を、西山町長は「亀田病院には迅速に対応していただき、誠に感謝している」と話していました。